

製品名: サイトケラチン 8 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86307**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から 12 ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:500,FC 1:20-1:50,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:54 kDa; Observed MW:54 kDa

抗原情報

遺伝子名	Cytokeratin 8
別名	K8; KO; CK8; CK-8; CYK8; K2C8; CARD2
遺伝子 ID	3856
SwissProt ID	P05787
免疫原	ヒトサイトケラチン 8 の合成ペプチド

背景

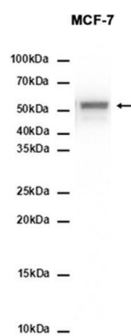
この遺伝子は、12 番染色体長腕にクラスターを形成するタイプ II ケラチンファミリーのメンバーです。タイプ I およびタイプ II ケラ

チンはヘテロ重合し、上皮細胞の細胞質内で中間径フィラメントを形成します。この遺伝子産物は通常、ケラチン 18 と二量体を形成し、単層上皮細胞において中間径フィラメントを形成します。このタンパク質は細胞構造の完全性を維持する役割を果たすほか、シグナル伝達および細胞分化にも関与しています。この遺伝子の変異は、特発性肝硬変を引き起こします。この遺伝子には、選択的スプライシングによる転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2012年1月]

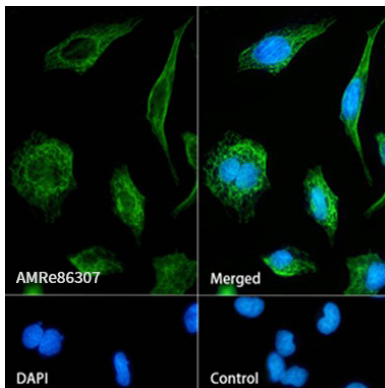
研究分野

-

画像データ



サイトケラチン 8 ウサギモノクローナル抗体を 1:5000 で使用した MCF-7 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。



AMRe86307 でサイトケラチン 8 を標識した HeLa 細胞の免疫蛍光分析。